

会社概要

企業理念

わたしたちは
確かなものづくりを通して
豊かな社会の実現に貢献します

行動指針

- 信頼を築く
- 技を磨き、伝える
- 夢をいだき、挑戦する

企業行動5つの誓い

法令遵守 ▶ その行為は**法律に違反していないか**

企業倫理 ▶ その行為は**企業理念や倫理に違反していないか**

社会常識 ▶ その行為は**社会の常識か**

社会の目 ▶ その行為は**社会の目、安心、安全にそむいていないか**

自分の心 ▶ その行為は**間違いないか、自分の心に問いかける**

(2019年現在)

社 名：株式会社 NIPPO

英 文 社 名：NIPPO CORPORATION

設 立：1934年(昭和9年)2月

本社所在地：〒104-8380
東京都中央区京橋1-19-11
TEL 03-3563-6751(代表)

代 表 者：代表取締役社長 吉川 芳和

資 本 金：15,324百万円

事業内容：建設事業、アスファルト混合物等の製造・販売事業、
開発事業およびその他の事業

従業員数：2,105人(男性1,744人、女性361人)
※2019年3月31日現在

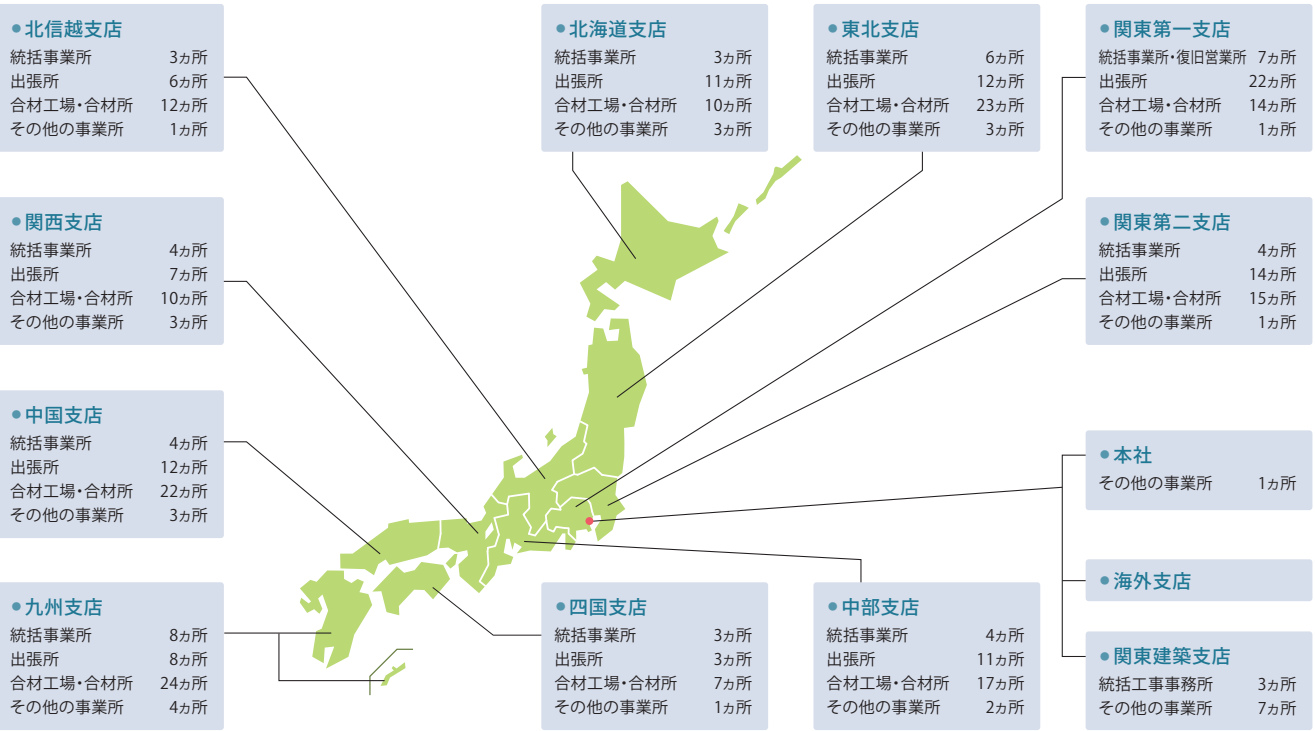
ホームページ：https://www.nippo-c.co.jp/

当社はアスファルト舗装工事を中心とする舗装・土木工事
およびアスファルト舗装の材料であるアスファルト混合物
の製造・販売を中核事業としています。

舗装・土木工事の対象は、一般道路、高速道路、レーシング
コース、空港から、市民の憩いの場となる公園、テニスコ
ート、サッカーグラウンド、さらには庭先舗装まで広範囲に及び
ます。また、製造したアスファルト混合物は当社の工事で使用
するだけでなく、ほかの舗装工事業者にも販売しています。

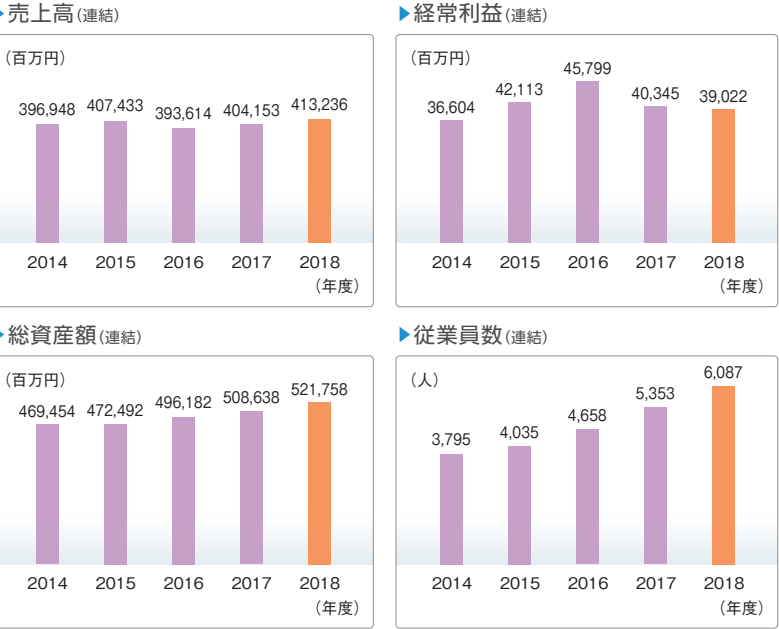
このほか、オフィスビルや工場等の建築工事、都市型マン
ションの分譲や市街地再開発等の開発(不動産)事業、土壌
浄化事業、海外事業といった戦略事業を取り込み、事業基盤
を強化しています。

事業所一覧 (2019年4月1日現在)

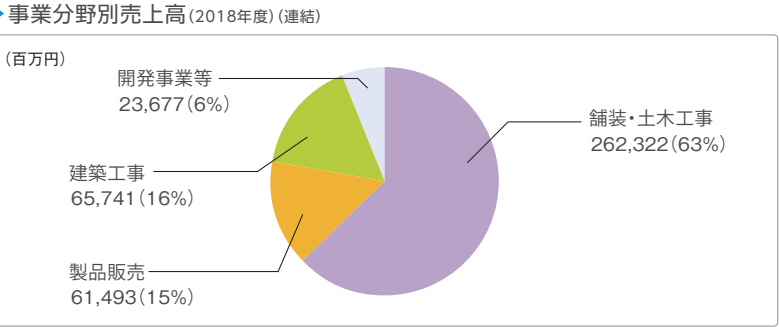


CSR活動への取り組み

- 1934 日本石油(株)道路部と浅野物産(株)道路部の合同により「日本舗道株式会社」を設立
- 1993 企業行動倫理委員会設置
- 1994 環境保全活動推進のための諮問機関として環境管理委員会を設置
企業理念・行動指針制定
- 1995 シンボルマーク改定
- 1998 環境に関する基本理念と行動指針を表した環境保全活動指針を制定
- 2003 日本舗道株式会社が、新日石エンジニアリング株式会社を吸収分割して「株式会社NIPPOコーポレーション」に商号変更
法令遵守(コンプライアンス)体制構築
- 2004 環境報告書創刊
- 2005 CSR体制構築
- 2006 企業理念・行動指針改定
- 2007 CSRLレポート創刊
- 2009 「株式会社NIPPO」に商号変更
- 2012 プラントエンジニアリング部門を「JXエンジニアリング株式会社」に会社分割



※2017年度より税効果会計基準の改正(企業会計基準第28号 2018年2月16日公表)を適用しています。



目次

- 会社概要 01
- トップメッセージ 03
- NIPPOの事業 05
- [特集] SDGs勉強会の実施 07
- マネジメント報告
 - コーポレート・ガバナンス 09
 - CSRマネジメント 11
 - コンプライアンス 12
 - リスクマネジメント 13
- 環境・安全報告
 - 品質保証体制 14
 - 環境マネジメントシステム 15
 - 舗装事業における環境保全活動 17
 - 舗装事業における環境・安全対策技術 19
 - 戦略事業における環境・安全配慮 21
 - 安全管理 23
- 社会性報告
 - お客様の信頼を得るために 24
 - 従業員とのかかわり 25
 - 社会とのコミュニケーション 29
 - 読者の声を受けて 31
 - 第三者意見 34

編集方針

CSRとは、Corporate Social Responsibilityの略で、「企業の社会における信頼性」と訳されます。このCSRレポートでは、当社が社会から信頼されるために取り組んでいる活動を紹介し、一般の方にとってなじみの薄い建設業を事業活動の中心とする当社と、経済、環境、社会とのかかわりについて、多くの方々に知っていただくことを編集の基本方針としています。

このレポートをツールとして、当社と関わる多くの方々とのコミュニケーションをさらに充実させていきたいと思ひます。

対象範囲と対象期間

対象範囲：本社、支店12カ所、統括事業所・統括工事事務所・復旧営業所49カ所、現業事業所290カ所(海外を除く)。

対象期間：2018年度
(2018年4月1日から2019年3月31日)
一部には、時期を明示した上で2018年度以前の情報と2019年8月までの最新情報を掲載しています。

平成から令和、そして その先の未来へ NIPPOは “皆様のご期待に応える会社” であり続けます。

株式会社 NIPPO 代表取締役社長

吉川 芳和



ステークホルダーの皆様、日頃より当社の事業活動にご理解とご支援を賜りまして、誠にありがとうございます。
2019年度の「CSRレポート」発行にあたり、ひと言ご挨拶申し上げます。

信頼の回復に努めてまいります

一連の独占禁止法違反事件につきまして、株主様、お客様、お取引先など数多くのステークホルダーの皆様にご多大なるご迷惑とご心配をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

当社は、独占禁止法違反行為を再び繰り返さないために、「コンプライアンス体制の改革」「適正な受注活動を確保するための施策」「組織・人事的対応」の3つの事項を柱とする再発防止策を、継続的かつ計画的に実行しています。さらに、法務部門と弁護士によるモニタリングも継続して行っております。

当社は、独占禁止法をはじめとする、あらゆる法令に違反する行為は絶対に行わないという企業風土・企業文化を盤石なものとするための取り組みを引き続き推進し、全社一丸となって信頼の回復に努めてまいります。

熱意をもって安全に取り組んでまいります

当社では、残念ながら過去に発生してしまった死亡事故などを教訓として、二度と尊い人の命が失われないように、「安全作業5つの誓い」を日々の作業において、全社で実施を徹底しています。

「人の命を守る」ための安全確保は、企業が第一に果たすべき責任です。当社はこれからも「安全作業5つの誓い」を確実に実施し、熱意をもって安全に取り組んでまいります。

重機作業	人との分離を実施したか ヨシ!
車両後退	誘導合図を確認したか ヨシ!
土砂崩壊	土止めはしたか ヨシ!
墜落・転落	安全帯を使っているか ヨシ!
非定常時作業	装置は止めたか ヨシ!

「確かなものづくり」を通して 「持続可能な社会の実現」に 貢献してまいります

世界的に深刻化する環境問題や経済・社会問題に対し、国や国際機関だけでは対応しきれない状況に直面していた中、2015年9月の国連サミットにおいて、「SDGs(持続可能な開発目標)」が採択されました。2030年度までに経済・社会・環境の3つの側面のバランスが取れた社会を目指し、全世界で課題解決の取り組みが行われています。この取り組みは企業にも求められており、昨今では、企業のESG(環境・社会・企業統治)が企業を評価する指標とする動きも見受けられるようになっていきます。

当社は企業理念として、「わたしたちは確かなものづくりを通して豊かな社会の実現に貢献します」を掲げています。「確かなものづくり」の言葉には、環境に配慮し、安全にかつ社会規範をしっかりと守り、確かな品質のものを社会にお届けする、という意味が込められています。

当社では従来からこの企業理念に基づき、社会インフラの整備に携わるとともに、資源の再利用・CO₂排出量の抑制といった環境問題の解決につながる技術の開発などに積極的に取り組んでまいりました。SDGsの目標達成が全世界で求められている現状において、当社が貢献できる領域はこれからますます広がっていくと考えられます。

当社は事業活動を通じて、「持続可能な社会の実現」に向け、積極的にSDGsに貢献してまいりたいと考えております。

社会の一員として歩んでまいります

当社は全国各地に事業所を展開しており、それぞれの事業所が社会の一員として地域に密着した清掃活動や交通安全運動、町内会活動などに積極的に参加しております。2016年度からは、全社一斉ボランティアとして、年2回(8月および2月)の道路清掃活動を各事業所で行っています。

これらの事業所は、災害発生時にはインフラ復旧などの重要な役割を担う拠点となります。災害発生後速やかに復旧支援体制を組み、いち早く現場に駆けつけ復旧の支援を行います。

一方、世界では予防可能な感染症で命を落とす発展途上国の子どもたちが数多くおり、20秒に1人が亡くなっていると言われています。未来のある子どもたちを1人でも救いたいとの想いから、当社では認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」へ、アスファルト混合物販売数量1トンにつき1円を寄付する取り組みを行っています。

この他、教育教材「こども おしごと はくぶつかん」への協賛やJXTGグループの一員として「童話の花束」チャリティ活動に参加するなど、様々な社会貢献活動に取り組んでおります。

当社は、これからも社会の一員として、皆様と共に歩んでまいります。

おわりに

元号が平成から令和となりました。新しい時代の幕開けに気持ちを新たにされている方も多いのではないのでしょうか。平成から令和、そしてその先の未来へ。当社は、新たな時代になっても、ステークホルダーの皆様のご期待に応え、社会から必要とされる企業であり続けるために、これからもCSR活動に積極的に取り組んでまいり所存です。

本報告書では、法令遵守に向けた取り組みや事故防止に向けた安全への取り組み、環境に配慮した技術の開発、さらには地域に密着した社会貢献活動など、当社が日頃から行っているCSR活動を、できるだけ分かりやすくまとめました。またCSRに対する従業員の考えや各々の取り組みについてもご紹介しています。

本書を是非お読みいただき、当社の活動にご理解、ご支援を賜りますとともに、忌憚のないご意見をお聴かせくださいますようお願い申し上げます。

NIPPOの事業

事業活動を通じて、社会の様々な場面で
当社の技術力を活かした「確かなものづくり」を実践し、
豊かな社会の実現を目指しています。

土壌浄化事業

事業を通じて汚染を社会全体に拡散させないことを念頭に、「土壌浄化」工法の提案に日々努めています。また、搬出する汚染土壌の管理票購入費の一部は、土壌汚染対策基金に使われています。

開発（不動産）事業



ル・サンク盛岡中央通2019年3月全戸引渡

環境と安全に配慮し、永く安心できる住環境の提供を柱とした不動産事業を展開しています。「環境重視」「安全性の高い商品企画」「資産価値の高い街づくり」をコンセプトとし、全国の主要都市において、マンション分譲事業「Le Cinq」シリーズ、賃貸事業「ABAS」シリーズおよび市街地再開発事業に取り組んでいます。

海外事業



海外テストコースのバンク舗装工事

中国やインド、東南アジア諸国を中心としたテストコースの建設、アフリカ諸国を中心とした日本政府の開発援助（ODA）による道路整備事業への参画、東南アジアエリアにおけるアスファルト合材事業の展開等、当社の道路分野における長い経験、高い技術力を活かし、世界での活躍の場を広げ、各国のインフラ整備に貢献しています。

建築事業

1983年から本格的に建築事業に取り組み、多彩な建築を手掛けてきました。設計・施工・アフターサービス・修繕・メンテナンスまで一貫した体制を確立し、お客様の信頼を得ています。これまで培ってきた地域社会とのつながりを活かし、環境に配慮した最良の建築物をかたちにしています。



リゾートマンション建築

製品製造・販売事業



豊田合材工場



スマートモルタル

アスファルト混合物を製造・販売する工場を全国に展開しています。これらの工場では、舗装工事で現場から回収された舗装廃材を受け入れ、その全量を自社工場内で再資源化、再利用するリサイクルシステムを構築し「循環」を完結しているほか、燃料のガス化や省エネ機器の導入等によるCO₂排出量削減に取り組んでいます。

舗装・土木事業



東北中央自動車道 上山舗装工事



成城学園創立100周年記念グラウンド整備工事

1934年の会社設立以来、日本全国で様々な「道づくり・まちづくり」を手がけてきました。道路、空港、スポーツ施設等のインフラ整備を通して社会に貢献しています。人・都市・地球環境に配慮した材料・製品を開発、舗装工法に取り入れるとともに、生産性向上を目的としたICTにも積極的に取り組んでいます。